



名古屋市工業研究所が発行する「月刊名工研」では、これまで当所の事業紹介や技術情報を幅広く発信してまいりました。このたび紙面をリニューアルし、よりシンプルで分かりやすく最新の情報をお伝えする形とします。次号からは工業研究所職員のプロフィール記事(得意技術など)を掲載する予定です。今後ともご愛読いただきますようお願いいたします。

★特集:令和8年度 工業研究所の主な事業紹介

○ 令和8年度の主な研究計画

当所では、地域製造業の共通課題に対して新技術確立や技術指導力強化を図るため、各種分野の研究に取り組んでいます。

本年度は下記のほか、萌芽研究、探索研究、業界団体との共同研究等も実施します。

区分	研究題目
活用型研究	プラスチックの劣化における異物との接触の影響
	複雑形状試験体を対象とした高速引張試験手法の検討
共同研究(産総研)	高性能セラミックス部材の製造技術の高度化
	分別結晶法を用いたアルミニウム合金リサイクル技術の開発
共同研究(名大)	X線CTを用いた多孔体の圧力損失評価手法の検討
	高分子溶液中の相分離を利用した中空高分子粒子作製方法の開発
指定研究	特殊形状試験片による異方性降伏関数の同定
	IH リフローにおける局所加熱部の非接触温度計測の検討
	高強度 SUS 基複合材料の曲げ強度に及ぼすσ相微細化の効果

○ 「名工研ものづくり協力会」のご案内

市内を中心とした中小企業の皆様と当所(名工研)とが、人的交流や意見交換によってつながりを強める場として、「名工研ものづくり協力会」を昨年度に設立いたしました。

本会は当所のシーズを発信するとともに、会員企業の技術的ニーズなどを共有するイベントを通じて、互いに顔が見える関係を築くことを趣旨としています。令和8年3月末現在、100社以上にご登録いただいています。名工研を核として、地域で頑張る仲間同士がつながる場として期待いただいています。なお、入会は無料ですが、条件がありますので、詳しくは下記にお問い合わせください。



名古屋市内に本社・事業所があること

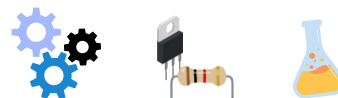
【入会案内・お問合せ】

名古屋市工業研究所 支援総括課

E-mail: kyoryoku@nmiri.city.nagoya.jp

○ 令和8年度「ものづくり基盤技術研修」のご案内(本年度新規開講!)

基礎的な内容を中心に、機械・電気・化学など12の研修コースをご用意しました。幅広く活躍できる技術者の人材育成に、ぜひご活用ください。



<機械系>

設計入門研修

6月の木曜、4日間

加工技術研修

7月の水曜、4日間

機械要素技術研修

7~8月の木曜、4日間

<電気系>

電子回路研修

6月の火曜、5日間

メカトロ技術研修

7~8月の水曜、4日間

シーケンス制御の基礎研修

9月の水曜、4日間

組込みプログラミング入門研修

9~10月の火曜、4日間

<化学系>

表面技術研修

7月の金曜、4日間

プラスチック材料基礎研修

8~9月の火曜、4日間

金属技術研修

9~10月の木曜、4日間

機器分析研修(無機)

10~11月の金曜、4日間

機器分析研修(有機)

11~12月の火曜、4日間

◎各研修の詳細内容や日程は、

下記、ウェブサイトをご覧ください。

・受講料: 40,000~50,000円(税込)

・定員: 12~15名

※研修ごとに異なります

主催・会場: 名古屋市工業研究所

(一部は外部会場にて実施)

◎ウェブサイトのフォームからお申込み

ください。※募集開始・終了もサイト上

でお知らせします。



現在は、【電子回路研修】【設計入門研修】【加工技術研修】【表面技術研修】【機械要素技術】【メカトロ技術】が申込受付中です。(先着順)

<https://www.nmiri.city.nagoya.jp/tech-support/kiban-training/>

○ 助成事業への採択および受賞について

★令和7年度内藤科学技術振興財団の研究助成に2件の研究が採択されました。

・「快適音環境の実現を目指した共鳴器型吸音構造の高精度性能予測に関する研究」
計測技術研究室 安藤 真 研究員

・「オーステナイト系ステンレス鋼の腐食環境下における疲労き裂発生に及ぼす表面粗さの影響」
金属材料研究室 玉田 和寛 研究員

★令和7年度永井科学技術財団の財団賞(技術賞)に選ばれました。

・「動的共有結合に基づく自己修復性・再成形加工性を有する樹脂材料の開発」
環境・有機材料研究室 相羽 誉礼 研究員

★令和7年度三五ものづくり財団の啓発教育助成に「名古屋市工業研究所 一般公開 みんなのテクノひろば 2026」が採択されました。



授与式(令和8年3月13日)
(株)三五 レセプションホールにて

○ 「協働ロボット人材育成事業」のご案内

公益財団法人 JKA 2026 年度
公設工業試験研究所における人
材育成補助事業により、「協働ロ
ボット人材育成事業」を実施します。



中小企業が抱える人手不足の解消や生産現場の効率化・省人化において、ロボット活用に関する実践的な知識や技術の重要性が高まっています。

本事業では、中小企業の協働ロボットの導入や運用に関する不安を解消し、スムーズなロボット導入および柔軟で効率的な運用ができる人材の育成を目的として、セミナーやワークショップを開催します。

加えて、中小企業の具体的な導入課題や運用上の疑問に対応するため、専門員による「ロボット相談会」も開催予定です。

セミナー等の具体的な実施内容は、準備が整い次第ご案内します。



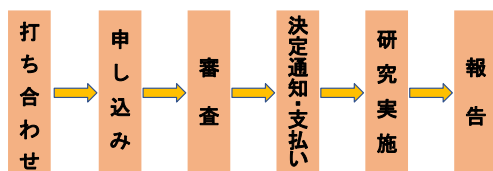
協働ロボット

○ 「受託研究」のご案内

新製品や新技術の開発に取り組みたい企業から委託を受け、当所の研究員が研究開発を行います。委託企業の社員を研究補助員として受け入れ、共同で研究を実施することも可能です。

研究期間は当該年度内の1ヶ月以上です。研究費は企業負担とし、研究期間が6ヶ月未満の場合は月額10万円以上で、6ヶ月以上の場合は総額60万円以上で承ります。詳細は各研究員にお問い合わせください。

受託研究の流れ



<実施事例>
緩み防止ボルトの開発支援
([成果事例集](#)より)



○ おもな人事異動(令和8年度4月1日付)

※[]は前年度部署

副所長 飯田 浩史
[局付担当部長]

製品技術研究室長 毛利 猛
[信頼性評価研究室長]

計測技術研究室長 村田 真伸
[担当課長(先進技術支援)]

環境・有機材料研究室長 野々部 恵美子
[計測技術研究室長]

信頼性評価研究室長 三宅 猛司
[(公財)名古屋市産業振興公社]

担当課長(技術支援) 山田 博行
[担当課長(共同研究等の企画調整)]

担当課長(共同研究等の企画調整) 山中 基資
[(公財)名古屋市産業振興公社]

担当課長(先進技術支援) 松本 宏紀
[担当課長(技術支援)]

総務課長 前田 美貴
[局産業労働部担当課長]

局付担当課長[(公財)名古屋市産業振興公社]
吉村 圭二郎[支援総括課]